

プロジェクトマネジャー: 畑 慎也 PM (サイボウズ・ラボ株式会社 代表取締役社)

## 1. プロジェクト全体の概要

以下のテーマのプロジェクトを公募した。

1. ソフトウェア開発のためのツール/フレームワーク/言語/手法
2. ミドルウェア(DB、検索エンジン、アプリケーションサーバー、高可用クラスタなど)
3. コミュニケーションツール
4. ビジネスツール
5. ビジネスモデルを実現するソフトウェア
6. IT を使う現場の問題を解決するソフトウェア

2008 年度の上期に引き続き、上記のテーマで募集を行った。

プロジェクト管理についても上期と同様、グループウェアを用いて常時ディスカッションできる環境を構築し、それと合わせて、キックオフミーティング、進捗ミーティング2回、中間合宿2回、および最終報告会を行った。

キックオフ、中間合宿、および最終報告会においては、勝屋 PM と合同で行い、クリエイター同士の交流を図ることができた。また、今回両PMが採択したプロジェクトにおいては偶然にも音声認識をベースとしたプロジェクト、および音声認識の分野に詳しいクリエイターの方が多数含まれており、プロジェクトを進める上で特によい影響を与えたと感じている。

最終報告会では 2009 年度からの未踏本体、未踏ユースの一部の PM の方をお呼びし、パネルディスカッションを行うなど、PM の視点からどのようなクリエイターが望まれるかというアドバイスを現クリエイターに対して行えたと考えている。

## 2. プロジェクト採択時の評価(全体)

募集したテーマは、プロジェクト採択時の審査基準としては、まず書類審査の段階で、以下の基準を設けた。

- 従来技術よりもいかに優れているか
- 優位性を論理的に説明できているか、もしくは、PM の主観で良さが直観的に感じられ

るか

- 開発者のセンス、開発力、遂行力
- 普及する可能性(できるだけ多くの人に影響をあたえるもの)

さらに、前回の経験を踏まえ、あらかじめ NG なテーマを応募者の方に理解してもらおう意図も込めて、PM の視点から「採択しないプロジェクト」という基準を以下の通り提示した。

- 受託開発的なプロジェクト
  - 特定の業務に向けた、一部の人がしか使わないようなソフトウェア
  - 受託開発を支援する開発ツールは、この限りではありません。
- 優位性を論理的に説明できていない提案
  - よくある例「画像、動画、ブックマ、テキストなどをシームレスにタグ付けできるシステム」
    - ※ Flickr、YouTube、はてなブックマークなどのカテゴリーキラーが優勢な実情と照らし合わせて、優位性の説明に説得力を持たせる必要があります。

以上の基準に照らし合わせて書類審査を通過したプロジェクトについて、さらにヒアリングを行った。ヒアリングでは応募プロジェクトについて質疑を行うと同時に、書類審査では判断することが難しい審査基準である「開発者のセンス、開発力、遂行力」を会話の中から推し量り、最終的に採択するプロジェクトを決定した。

最終的に 2 件採択する結果となった。

2007 年度・2008 年度と 2 年間 PM を務めさせていただきましたが、私が不採択としたプロジェクトを他の PM が採択したり、また他の PM が不採択としたプロジェクトを私が採択したり、さらにそのような形で採択されたプロジェクトのクリエイターがスーパークリエイターに認定されたりしたことがありました。このようなことは基本的には肯定的に捉えているのですが、このようなことから、PM によって見る視点がかなり異なることが分かります。多種多様な視点からクリエイターをみる必要があると、改めて実感いたしました。

### 3. プロジェクト終了時の評価

キックオフ、中間合宿などのイベントが予定されていない月には進捗ミーティングを行うことにより、最低月 1 回は進捗状況を把握する機会を設定したことは、クリエイターに対しフィードバックを早めに与える点でよかったと考えている。

しかしながら、一部のプロジェクトについては後半に遅れが顕在化したので、さらに早めの軌道修正を行えばよかったと反省している。